

旅立ちのあとに

3月13日（月）は、第76回卒業証書授与式の日でした。ここ数日は、3年生が本当に卒業してしまったという現実慣れるための日となりました。

卒業式では、3年生の立派な態度や式歌「旅立ちの日に」のすばらしい歌声が印象的でした。「旅立ちの日に」が終わったあとに、自然発生的に拍手が沸き起こったことには驚きました。人はいいものには素直に拍手をおくるのだと思います。それだけ、3年生の歌声に心を動かされたのでしょう。3年生は、お家の方や1・2年生に何かを伝えよう、残そうとしていたのだと思います。

壇の上からは、1・2年生の様子もよく見えます。みんな立派な態度で式に臨んでいました。3年生が「旅立ちの日に」を歌っているときには、1・2年生の男子の様子が見えました。3年生の歌声をじっと聴いているまなざしが印象に残りました。それは、3年生からのメッセージを受け取っているかのようでした。

現在の野田中学校は、落ち着いた雰囲気の中で、様々な教育活動を行うことができます。それは、最上級生である皆さんの存在があってのことです。この卒業式では、ぜひ立派な皆さんの姿を一、二年生にも見せたいと考え、在校生にも参加してもらおうようにしました。

一、二年生の皆さん、この卒業式の雰囲気はどうですか。なぜ、三年生の態度や姿勢は、これほどまでにすばらしいのでしょうか。それは、式に臨む気持ちと今までの中学校生活からきています。一、二年生の皆さんも、この式から何かを感じてください。そして、考えてください。

これらは、校長式辞の一部です。改めて、1・2年生の皆さんに読んでほしいと思います。かみしめてほしいと思います。きっと皆さんは、式の最中から、しっかりと感じ、ちゃんと考えてくれたのだと思います。1・2年生のそんな姿がうれしかったのです。

3年生がいなくなっても、すぐに2年生が、その役割を果たしてくれることと思います。そうやって、野田中学校のよき伝統は引き継がれていきます。1年生も、これから入ってくる新入生のことを楽しみにしながら、残り少ない中学1年生の生活を充実させてください。

3年生の旅立ちのあとに、日に日に成長していく1・2年生の姿が見られるのは、頼もしい限りです。